

## 世界の工業④ ～アジア～

途上国の工業化が本格化したのは、第二次世界大戦以降である。途上国の工業は主に2パターンである。1つは輸入に依存していた製品を自国で生産する① \_\_\_\_\_、2つ目は自国の技術には限界があるため先進国の技術を国内に誘致し、そこで生産したものを輸出させる② \_\_\_\_\_である。①では、外国製品に高関税をかけて、国内市場を保護する③ \_\_\_\_\_を行い、②では④ \_\_\_\_\_を設け、税金などを免除や軽減させている。

### (1)アジアNIES

アジアNIESとは⑤ \_\_\_\_\_、⑥ \_\_\_\_\_、⑦ \_\_\_\_\_、⑧ \_\_\_\_\_を指す。

⑤ \_\_\_\_\_

馬山(マサン)……輸出加工区。繊維・食品・機械工業等。  
釜山(プサン)……最大の港湾都市。造船、化学等。  
日本と同様、資源に恵まれないため、沿岸部に工業地域が発達。

⑥ \_\_\_\_\_

香港島全域が工業地域。中継貿易地として発達。現在はアジアの金融センター

⑦ \_\_\_\_\_

カオシュン……輸出加工区。対岸のアモイ(中国)と結びつき発達。

⑧ \_\_\_\_\_

ジュロン……輸出加工区。

### (2)タイ・マレーシア

近年では、外資を導入し、工業化が順調に発展している国。

タイの輸出額に占める割合

電気機械(24.4)自動車(9.5)一般機械(7.3)天然ゴム(4.0)石油製品(4.0)

マレーシアの輸出額に占める割合

電気機械(39.1)パーム油(9.5)液化天然ガス(6.0)原油(4.0)石油製品(4.0)



Copyright(C) T-worldatlas All Rights Reserved.

### (3)中国

文化大革命(1966~76)の失敗の後、4つの近代化「農業・工業・国防・科学技術」政策を掲げて、市場経済を導入する「改革・開放政策」をとるようになった。

#### 東北地方

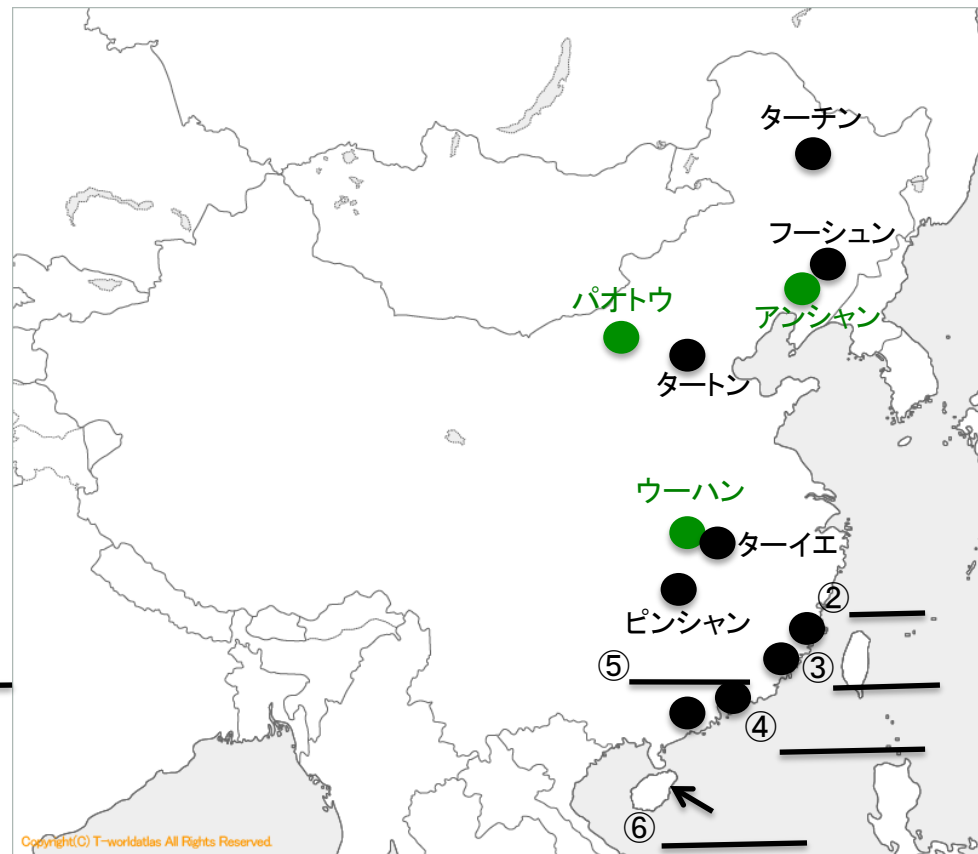
拠点基地	石油	石炭	鉄鉱石
アンシャン (鞍山)	ターチン(大慶) 油田	フーシュン (撫順)炭田	アンシャン鉄山

#### 華北

拠点基地	石炭	鉄鉱石
パオトウ (包頭)	タートン(大同) 炭田	パオトウ鉄山

#### 華中

拠点基地	石炭	鉄鉱石
ウーハン (武漢)	ピンシヤン(萍郷) 炭田	ターイエ(大治) 鉄山



<改革・開放政策後>

輸出加工区を設定。これを① \_\_\_\_\_ という

② \_\_\_\_\_、③ \_\_\_\_\_、④ \_\_\_\_\_

⑤ \_\_\_\_\_、⑥ \_\_\_\_\_ の5つ。

全て⑦ \_\_\_\_\_ に設定されている

※⑧ \_\_\_\_\_ ……沿岸14都市に設定されている経済特区の後に設置された特別地域。

## 出題例

シンガポールは、マレー半島の南端に位置する島々で構成され、年間を通じて高温多湿である。1965年にインドネシアから分離独立した後、政府主導による多国籍企業の誘致によって工業化が進み、ジュロン地区には、先進諸国の企業が進出し、臨界工業地域を形成しているが、国民の貧富の差が激しく、一人当りの国民総所得は周辺諸国と同等かそれ以下にとどまっている。

改革開放政策の一環として、アモイなどの経済技術開発区の設置に次いで、1980年代には外資と技術の導入を目的に経済特区が設定され、2006年までにシャンハイなど14都市が指定されている。経済特区では、進出する外国企業に対して、用地の確保や道路などの基盤整備、租税などの側面で様々な経済的優遇措置が図られている。